

事業概要シート

施策	0102	親と子の健康増進		<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	産後ケア事業（旧：子育て世代包括支援センター事業）	縮小	予算額	1,176 千円
事業期間	平成31年度 ~			<< 10,796 >>千円
根拠法令要綱等	母子保健法第17条2・第22条	財 源 内 訳	国庫支出金	588 千円
			県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	588 千円

【事業の目的・概要・対象】

産後ケア事業

【目的】産後の母子に対し心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう支援する。

【概要】産婦人科での宿泊または通所で、産後の体調管理やケア、授乳方法や乳児の世話の仕方の相談、サポートを行う。

【対象】家族等からの産後の育児支援が受けられないまた産後の心身の不調や育児不安がある母子

①～④の要件を満たす方が対象になります

- ①大村市に住所がある方
- ②産後1年未満の方
- ③家族から十分な育児の援助が受けられない方
- ④産後心身の不調、または育児不安のある方

（*入院を必要とする治療が必要な状態のときはご利用できません）

ご利用
できる方

受けられる
サービス

方法	宿泊型	通所型
内容	・お母さんの産後の体調管理とケア ・授乳方法、赤ちゃんのお風呂の入れ方、お世話の仕方などについての相談、サポート	
回数	宿泊型、通所型、合わせて7日以内	
利用者負担金	市民税課税世帯	3,700円
	非課税世帯	1,200円
	生活保護世帯	無料

- * 利用者負担金は、利用時に事業者へ直接お支払いください。
- * 食事代、衣類の洗濯代・賃借料、ミルク代、おむつ代は実費負担です。

ご利用
できる施設

施設名	住所	電話番号
大村中央産婦人科	水主町2丁目609-1	52-3850
レディースクリニックしげまつ	古町1丁目514	54-9200

【背景】

産後に適切な支援を受けることができずに、心身に不調があり、育児に不安を抱える母親に対し、産後に集中的かつ専門的な支援により、安心して子育てができる環境を整える必要がある。

担当課	こども未来部こども家庭課	課長	久保 昭隆
担当者	松崎 さつき	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	産後ケア事業の利用者数	人	20	31	31	31	31
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	産後うつの可能性のある産婦の数 (児童虐待ゼロプロジェクト)	人	71	65	60	55	50
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
事業費	0	3,077	10,796	1,176	1,176	1,176	17,401
国庫支出金		1,377	7,088	588	588	588	10,229
県支出金		909	1,733	0	0	0	2,642
地方債		0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
一般財源		791	1,975	588	588	588	4,530
人件費	0	2,697	2,337	2,337	2,337	2,337	12,045
職員(人)		0.37人	0.32人	0.32人	0.32人	0.32人	1.65人
時間外勤務(h)		3h	5h	5h	5h	5h	23h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	5,774	13,133	3,513	3,513	3,513	29,446

妥当性 (市の関与)	、産後ケア事業は一部補助をすることで、利用しやすくなり、産後うつの予防につながる。
有効性 (施策貢献度)	育児に不安を抱える人が産後ケアを受けることにより、産後も安心して子育てができる。
効率性 (コスト)	産後ケア事業の一部を自己負担としており、利用しやすい金額設定を行っている。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり